

3. スイートピー新品種「岡山農試ピー3号」の育成（技術）			
[要約] 「岡山農試ピー1号（シンフォニー・チェリー）」に花壇用品種「Matucana」を交配して育成した「岡山農試ピー3号」は、春咲き性の大輪で、花色がこれまでにないピンクのグラデーションである。			
研究室名	野菜・花研究室	連絡先	086-955-0277

[背景・ねらい]

岡山県のスイートピーは全国3位（7ha）の栽培面積を誇るが、産地の競争力を維持するため、これまでに、既存品種にない特徴を持ったオリジナル品種「岡山農試ピー1号（シンフォニー・チェリー）」「岡山農試ピー2号（シンフォニー・ホワイト）」を育成した。これら2品種に引き続き、これまでにない花色のオリジナル品種を育成する。

[成果の概要・特徴]

1. 育成経過

平成10年に切り花用品種「岡山農試ピー1号」（花色：ピンク）と原種近縁花壇用品種「Matucana」（花色：赤紫二色咲き）を交配した。翌年度から選抜を繰り返し、平成16年度にほぼ固定した。平成17年度から加温促成栽培のための種子低温処理法、及び栽培試験を行い有望度と普及性を判定した。

2. 品種特性

- (1) 旗弁色が鮮紫ピンク（JHSカラーチャートNo9204）であるのに対して翼弁色は淡紫ピンク（同No9201）で、親品種の「岡山農試ピー1号」に比べて花色のグラデーションが強い（図1、表1）。
- (2) 大輪であるが小花数はほぼ4輪程度で、ステムはやや細い（データ省略）。
- (3) 春咲き種のため、冬季加温促成栽培には種子冷蔵を2℃で4週間行う（表2）。
- (4) 他の品種に比べて冬季の落蕾がやや少ない（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 生育がやや弱いため、灌水を多めにし、栽培温度は低め（最低7℃、換気開始温度18℃）に管理して旺盛に生育させる。
2. 冬季寡日照期には花色の発色が劣り、品質評価に影響する可能性がある。
3. 種苗法に基づき、品種登録を申請中である。

[具体的データ]



図1 「岡山農試ピー3号」と親品種の比較

表1 「岡山農試ピー3号」と親品種の特徴的な特性の違い

	岡山農試ピー3号	Mat ucana	岡山農試ピー1号
草型	高	中	高
一次分枝の発達	中	多	中
複葉数	1	1	3以上
葉型	卵形	卵形	広卵形
花の着生密度	密	疎	密
花形	ウェブ	オープン	ウェブ
旗弁色	鮮紫ピンク	濃赤ピンク	鮮紫ピンク
翼弁色	淡紫ピンク	鮮青紫	鮮紫ピンク
がくの色	無	有	無

注) 農水省花き品種特性分類表調査の測定方法に従って調査

表2 種子冷蔵期間が生育開花に及ぼす影響 (12月末まで)

冷蔵期間	着蕾株率	着蕾節位	一番花 ^z	
			開花株率	50%開花日
	%	節	%	月・日
0週	0.0	—	0.0	—
2週	50.0	17.2	11.1	—
3週	93.3	10.7	19.4	—
4週	100.0	9.6	92.9	12.17
5週	100.0	8.4	55.6	12.24

^z 15節位以上で最初に開花した小花2輪以上のステム

表3 「岡山農試ピー3号」と親品種の加温促成栽培における収量性

品 種	着蕾率 ^z	切花初め	切花本数 ^y	落蕾率
				%
岡山農試ピー3号	100	12月上旬	8.9	38.3
Mat ucana	37	1月下旬	3.6	46.2
岡山農試ピー1号	90	12月中旬	5.4	54.0

^z 1月末までの調査

^y 2月17日までの調査

[その他]

試験研究課題・事業名：スイートピー新品種の育成

予算区分：県単

研究期間：平成10年度～

関連情報等：岡山農試研究報告14「春咲きスイートピー新品種‘シンフォニー・チェリー’・‘シンフォニー・ホワイト’の育成」